

新型コロナワクチン予防接種についての説明書

○ 新型コロナ感染症について

SARS-COV-2による感染症が発症すると熱や咳など風邪によく似た症状が見られます。軽症のまま治癒する人も多い一方、重症化すると、呼吸困難などの肺炎の症状が悪化し死に至る場合もあります。

予防の基本は、予防接種を受けることです。これは、最も有効な予防法ですが、完全に予防できる訳ではありません。新型コロナ感染症は空気中に拡散されたウイルスによって感染しますので、感染予防のためには、人ごみは避けましょう。また、常日頃から十分な栄養や休息を取ること、外出時のマスクや帰宅時の手洗い・うがいも大切です。

○ 新型コロナワクチン予防接種の副反応

主な副反応は、注射部位の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。稀に起こる副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。接種後に気になる症状がある場合は接種医やかかりつけ医に相談しましょう。

ごく稀ではあるものの、ワクチン接種後に軽症の心筋炎や心膜炎が報告されています。接種後数日以内に胸の痛みや動悸、息切れ、むくみ等の症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。

○ 接種対象者〔伊東市に住民登録(外国人登録)のある人〕

- (1) 接種当日に65歳に達している人
- (2) 接種当日に60歳～65歳未満の人のうち
 - ・心臓、じん臓、呼吸器の機能の障害を有する人(日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する人)
 - ・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害を有する人(日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する人)
 - (いずれも身体障害者手帳1級又は同程度以上の方)
- (3) 予防接種を受ける義務はなく、本人が接種を希望する場合のみに接種を行います。また、接種を受ける本人に麻痺などがあって同意書に署名ができない場合や認知症状があって正確な意思の確認が難しい場合などには、家族やかかりつけ医によって、特に慎重に本人の接種意思の有無の確認を含め、接種適応を決定する必要があります。(最終的に確認ができなかった場合には、予防接種法に基づく接種はできません。)

○ 予防接種を受ける前に

- (1) 新型コロナワクチン予防接種は、公費負担ありで接種できるのはシーズン期間内1回です。2回目以降は全額自己負担となります。また同じワクチンを正しい接種間隔をあけずに接種すると副反応が強くなる場合があります。必ず、最終接種日をご確認ください。予防接種の説明書をよく読み、必要性や副反応についてよく理解しましょう。気になることや分からないことがあれば、医療機関又は健康推進課にお問い合わせください。十分に納得できない場合には、接種を受けないでください。法律に基づく予防接種はあくまでも、本人の意思に基づいて接種を受けるものなので、十分に医師の説明を聞き、理解した上で判断をしてください。

(2) 予防接種を受けることができない人

- ① 明らかに発熱のある人
一般的に、体温が37.5℃以上の場合を指します。それを下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱と判断される人。
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
急性の病気で薬を飲む必要がある人は、その後の病気の変化が分からなくなる可能性もあるので、その日は見合わせるのが原則です。
- ③ 本ワクチンの成分に対して、アナフィラキシーを起こしたことが明らかな人。
アナフィラキシーとは通常接種後一定時間に起こるひどいアレルギー反応のことです。発汗、顔の腫れ、全身にひどい蕁麻疹、吐き気、嘔吐、声が出にくい、息苦しさなどの症状に続き、血圧が下がっていく激しい全身反応です。
- ④ その他、医師が不適当な状態と判断した場合
上記①～③以外に、医師が接種不適当と判断したときは、接種できません。

(3) 予防接種を受けるに際し、担当医師とよく相談しなくてはならない人

- ① 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
- ② 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- ③ 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患がある人
- ④ 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状が出た人
- ⑤ 過去に痙攣を起こしたことがある人
- ⑥ 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こる恐れがある人
- ⑦ 腎機能障害・肝機能障害を有する人
過去に、薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことのある人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

(4) 予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ① 接種後一定時間に急な副反応が起こることがあります。体調に異常を感じた場合は、医師へ連絡してください。
- ② 注射した部位は清潔に保ち、入浴は問題ありませんが、注射した部位はこすらないようにしてください。
- ③ 接種当日はいつもの生活をしてかまいませんが、激しい運動や過度の飲酒等は避けましょう。

○ 予防接種を受けない場合

医師の説明を十分に聞いた上で、本人が接種を希望しない場合、家族やかかりつけ医の協力を得ても、本人の意思の確認ができなかったため接種しなかった場合、当日の身体状況等により接種をしなかった場合等においては、その後、新型コロナ感染症に罹患、あるいは罹患したことによる重症化、死亡が発生しても、担当した医師にその責任を求めることはできません。